

合流式下水道緊急改善事業（第2期） 事業評価シート

評価実施年月：平成29年3月

1. 対象事業	公共下水道中央処理区・北部処理区 合流式下水道緊急改善事業																																										
2. 実施主体名称	徳島市																																										
3. 計画期間	平成22年度～平成25年度																																										
4. 対象事業の進捗状況	<p>○ 汚濁負荷について、中央処理区では、高速凝集沈殿施設、昭和ポンプ場ポンプ井貯留の効果で未対策時から60t/年の削減効果が発現している。北部処理区では、設置済みの雨水滞水池の効果で43t/年の削減効果が発現している。</p> <p>○ 放流回数について、中央処理区では、未対策時から166回/年の回数削減効果が発現している。北部処理区では、未対策時から25回/年の回数削減効果が発現している。</p> <p>○ 夾雑物について、中央処理区・北部処理区で合流区域の対象5ポンプ場（中央4ポンプ場、北部1ポンプ場）でスクリーンの高効率化が図られており、夾雑物の削減に対し、全体として100%の進捗が認められる。</p>																																										
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<table border="1"> <thead> <tr> <th>処理区</th> <th>改善項目</th> <th>評価指標</th> <th>対策前</th> <th>改善目標</th> <th>事後評価 (平成28年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中央 処理区</td> <td>汚濁負荷量の削減</td> <td>放流汚濁負荷量 削減達成率</td> <td>427.4t/年 (0%)</td> <td>375.5t/年 (100%)</td> <td>367.2t/年 (102%)</td> </tr> <tr> <td>公衆衛生上の 安全確保</td> <td>未処理下水放流回数 削減達成率</td> <td>322回/年 (0%)</td> <td>161回/年 (100%)</td> <td>156回/年 (103%)</td> </tr> <tr> <td>夾雑物の削減</td> <td>雨水吐対策率</td> <td>0箇所 (0%)</td> <td>4箇所 (100%)</td> <td>4箇所 (100%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">北部 処理区</td> <td>汚濁負荷量の削減</td> <td>放流汚濁負荷量 削減達成率</td> <td>359.3t/年 (0%)</td> <td>337.9t/年 (100%)</td> <td>316.5t/年 (107%)</td> </tr> <tr> <td>公衆衛生上の 安全確保</td> <td>未処理下水放流回数 削減達成率</td> <td>41回/年 (0%)</td> <td>20回/年 (100%)</td> <td>16回/年 (125%)</td> </tr> <tr> <td>夾雑物の削減</td> <td>雨水吐対策率</td> <td>0箇所 (0%)</td> <td>1箇所 (100%)</td> <td>1箇所 (100%)</td> </tr> </tbody> </table>					処理区	改善項目	評価指標	対策前	改善目標	事後評価 (平成28年度)	中央 処理区	汚濁負荷量の削減	放流汚濁負荷量 削減達成率	427.4t/年 (0%)	375.5t/年 (100%)	367.2t/年 (102%)	公衆衛生上の 安全確保	未処理下水放流回数 削減達成率	322回/年 (0%)	161回/年 (100%)	156回/年 (103%)	夾雑物の削減	雨水吐対策率	0箇所 (0%)	4箇所 (100%)	4箇所 (100%)	北部 処理区	汚濁負荷量の削減	放流汚濁負荷量 削減達成率	359.3t/年 (0%)	337.9t/年 (100%)	316.5t/年 (107%)	公衆衛生上の 安全確保	未処理下水放流回数 削減達成率	41回/年 (0%)	20回/年 (100%)	16回/年 (125%)	夾雑物の削減	雨水吐対策率	0箇所 (0%)	1箇所 (100%)	1箇所 (100%)
処理区	改善項目	評価指標	対策前	改善目標	事後評価 (平成28年度)																																						
中央 処理区	汚濁負荷量の削減	放流汚濁負荷量 削減達成率	427.4t/年 (0%)	375.5t/年 (100%)	367.2t/年 (102%)																																						
	公衆衛生上の 安全確保	未処理下水放流回数 削減達成率	322回/年 (0%)	161回/年 (100%)	156回/年 (103%)																																						
	夾雑物の削減	雨水吐対策率	0箇所 (0%)	4箇所 (100%)	4箇所 (100%)																																						
北部 処理区	汚濁負荷量の削減	放流汚濁負荷量 削減達成率	359.3t/年 (0%)	337.9t/年 (100%)	316.5t/年 (107%)																																						
	公衆衛生上の 安全確保	未処理下水放流回数 削減達成率	41回/年 (0%)	20回/年 (100%)	16回/年 (125%)																																						
	夾雑物の削減	雨水吐対策率	0箇所 (0%)	1箇所 (100%)	1箇所 (100%)																																						
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<ul style="list-style-type: none"> 各ポンプ場について、必要遮集量に応じてポンプ能力、運用を見直し、汚濁負荷量の削減および公衆衛生上の安全確保に効果を発している。 対象全ポンプ場でスクリーンの高効率化を図っており、夾雑物の削減に効果を発している。 																																										
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設（中央浄化センター最初沈殿池、昭和ポンプ場貯留）に着目し、合流改善計画を見直すことで事業費の縮減を図り、合流改善対策を効率的に行った。 																																										
8. 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 今後水質モニタリング等を継続的に実施し、施設の効率的な運用を行っていくものとする。 																																										

注) 事業評価シートにおける各数値は、代表降雨年に対する流出解析モデルを用いた年間シミュレーションの結果によるものである。